



## 大学図書館研究会京都地域グループ報 刊行頻度変更と即時 OA 対応について

大図研京都地域グループ会員の皆様へ

- 大学図書館研究会京都地域グループ報は、2024/2025 年度から、刊行頻度を年間 2 回といたします。

今号にも掲載しております第 47 回京都地域グループ総会第 1 号議案にて、今年度に本誌の刊行頻度の見直しを検討することについて提案し、承認をいただきました。それを受けてグループ運営委員会で議論した結果、年間 2 回の刊行頻度に変更することとなりましたことをご報告いたします。

- 大学図書館問題研究会京都地域グループ報は著者による即時 OA が可能です。

本誌に掲載されたいかなる文献も、エンバーゴ無く、著者によるリポジトリ等でのセルフアーカイブが可能です。ご不明な点がございましたら、当ページ下部の連絡先までお問合せください。

### [目 次]

大学図書館研究会京都地域グループ報 刊行頻度変更と即時 OA 対応について	…	1
大学図書館研究会京都地域グループ第 47 回京都地域グループ総会議案	…	2
第 1 号議案	…	2
第 2 号議案	…	5
第 3 号議案	…	7
議事メモ・補足事項	…	7
グループ運営委員あいさつ	…	8
会費ご納入のお願い	…	10

- ご意見・ご要望、投稿は下記、電子メールまたは URL へお寄せください。  
電子メール：[kyoto@daitoken.com](mailto:kyoto@daitoken.com)（大学図書館研究会京都地域グループ）  
URL：<https://www.daitoken.com/kyoto/index.htm>

# 大学図書館研究会京都地域グループ

## 第 47 回京都地域グループ総会議案

### 【第 1 号議案】

2023/2023 年度(2023.7～2024.6)活動総括及び 2024/2025 年度(2024.7～2025.6)活動方針

#### 1.2023/2024 年度総括

##### (1) 研究交流活動

###### 1) 以下 3 企画について実施した

- ・ 大図研京都ワンディセミナー「大学図書館と生成 AI について考える」(現地参加 17 人、Zoom 参加 19 人) 2023 年 7 月 22 日(土) ChatGPT を蔵書検索サポーターに実装の試みを進めているカーリルの代表吉本龍司さんをお呼びして、生成 AI を実際触った感じの内容を伺いました。
- ・ 大図研関西 3 地域グループ合同例会「ネットで探せない『書誌の書誌』の書籍化の裏話」(参加人数 24 人) 2024 年 1 月 27 日(土) 私立大学の職員でありながら、数多く書誌に関わる書籍を数多くだされていますが、今回、ネットでは探せない書誌の書誌を日本に留まらずアジア・アフリカを含む調査が難しそうなエリアまで対象にして「書誌の書誌」の調査をして 1 冊の書籍にまとめ上げた時の裏話を中心に話をさせていただきました。
- ・ 大図研京都ワンディセミナー「京都大学 桂図書館見学！」(参加人数 12 人) 2024 年 5 月 18 日(土) 京都大学の桂図書館は 2020 年 4 月開館しましたが、その時まさに「緊急事態宣言」の発令などがあり、学外者の見学が困難な状況でした。今回、やっと桂図書館の見学を実施しました。久しぶりの図書館見学でもあり、色々見どころがたくさんありました。

##### (2) グループ報

2023/2024 年度刊行分につきましては、計画的発行を目指し編集作業を行いました  
が、大幅な発行遅延やそれに伴って合併号として刊行する号がありました。

2023/2024 年度発行したグループ報の目次は、次のとおりです。

###### 1) グループ報 No.355 (2023/08/15 発行)

- ・ 大学図書館研究会関西 3 地域グループ合同例会のご案内
- ・ 大学図書館問題研究会京都地域グループ第 46 回京都地域グループ総会議案
- ・ 大学図書館研究会第 46 回京都地域グループ総会 議事メモ・補足事項
- ・ 大学図書館問題研究会京都地域グループ臨時京都地域グループ総会議案
- ・ 羊図書館雑記帳 ～気付き～
- ・ 会費ご納入のお願い

###### 2) グループ報 No.356-357 (2023/10/15-12.15 発行)

- ・ 京都地域臨時グループ総会議案
- ・ 小特集：大図研京都ワンディセミナー「大学図書館と生成 AI について考える」参加報告
  - ・ 大学図書館研究会ワンディセミナー「大学図書館と生成 AI について考える」に参加して (山田美幸)

・ Chat GPT によるセミナー要約 (野間口真裕)

- ・ グループ委員あいさつ
- ・ 会費ご納入のお願い

3) グループ報 No.358 (2024/2/15 発行)

- ・ 大図研京都ワンディセミナー「京都大学 桂図書館見学！」
- ・ 大図研関西 3 地域グループ合同例会「ネットで探せない『書誌の書誌』の書籍化の裏話」参加報告 (森敬洋)
- ・ 第 55 回 全国大会について
- ・ グループ会費を 0 円にします！
- ・ 会費ご納入のお願い

4) グループ報 No.359-360 (2024/4/15-2024/6/15 発行)

- ・ 大学図書館研究会京都地域グループ第 47 回京都地域グループ総会のご案内
- ・ 大学図書館研究会京都地域グループ第 46 回京都地域グループ総会議案
- ・ 大図研京都ワンディセミナー「京都大学桂図書館見学！」参加報告  
見学！桂図書館 青木 真奈
- ・ 会費ご納入のお願い

(3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

Web サイトに、イベント案内、グループ報、グループ運営委員会報告等、グループ活動の記録を掲載しました。また、大図研のサーバー移行に伴い、事務局と各種調整を行いました。メーリングリストは新入会員にあわせ、適宜追加作業を行いました。

また、メールマガジンは、「大図研京都地域グループ News Letter」として、no.310 (2023 年 7 月 25 日) から no.324 (2024 年 6 月 28 日) を発行しました。グループ活動をお知らせするものとして、グループ委員会議事録、グループ企画案内を紹介する記事を配信しています。また、図書館関係のイベント案内を不定期で配信いたしました。

(4) 組織活動

49 名の地域グループ会員の皆様に支えていただき活動しました。2023/2024 年度は 退会者が 4 名、また新規入会者は 1 名でした。残念ながら、退会者のほうが多い結果となりましたが、ワンディセミナー等での非会員の参加も多く、京都地域グループの活動を知っていただくきっかけになりました。

(5) 財務

活発な研究交流企画実施のため、多くの研究交流会費を計上しました。今年度は 3 つの研究交流活動を実施し、講師謝礼や会場費等に支出しました。近年の財政執行状況を確認し、当面の間グループ会費 0 円でグループの運営ができると考えられることから、臨時総会を実施し、5 年後の再検討を条件に、グループ会費を 0 円とすることを決定しました。

(6) 広報とデザイン

- ・ 大図研京都ワンディセミナー「大学図書館と生成 AI について考える」
- ・ 大図研関西 3 地域グループ合同例会「ネットで探せない『書誌の書誌』の書籍化の裏話」
- ・ 大図研京都ワンディセミナー「京都大学 桂図書館見学！」

上記 3 つのイベントのビラのデザインを担当しました。

## 2. 2024/2025 年度活動方針

### (1) 研究交流活動

#### 1) 計画中の企画

- ・7月28日(日) 図書館バリアフリーに関する告知津国会図書館の近年の取組と大学図書館との関係をキャンパスプラザ京都で開催予定です。講師は国立国会図書館関西館の本田氏をお招きする予定です。
- ・京都橘大学図書館見学企画(開催時期調整中)。現在京都橘大学図書館は改修工事をしていますが、改修工事後の新しい図書館を見学する企画を調整中です。ご期待ください。

#### 2) 会員の発表の場としての研究交流活動の企画に積極的に取り組みます。

- ・会員の知的交流の場であると共に非会員への広報でもあるという意味を再認識し、組織拡大への貢献も大きな柱といたします。
- ・勉強会的な企画だけでなく、交流を軸とした企画も検討し、年2回程度は開催できるようにします。

ウィズコロナ(アフターコロナ)も考慮し、Web会議方式での開催も引き続き検討していきたいと思えます。

### (2) グループ報

グループ報のあり方、刊行頻度の見直し等、今後の刊行について、抜本的な見直しを検討します。

### (3) Web サイト、メーリングリスト、メールマガジン

Webサイトを随時更新することで、京都地域グループが主催・共催する種々の活動情報やグループ報記事を迅速に提供します。その他のコンテンツの拡充についても継続して検討していきます。

メーリングリストは管理が地域グループから事務局に変更になったため、入会や退会、更新の連絡を迅速に行います。

また、メールマガジンについて、より読まれるような内容にする工夫を継続するとともに、配信のタイミングについて検討していきます。同時に、メーリングリスト"ゆりかもめ"についてもその目的である「会員相互の親睦と交流を盛んにすること」の達成を目指し、会員による自由な投稿を促進するよう検討を重ねます。

### (4) 組織活動

2024/2025年度は新規入会者2名を迎え、会員数は47名でのスタートです。ワンディセミナー、各種イベント、グループ報、ホームページ、メールマガジン、SNS等を通じ、会員相互の交流が図れるような活動に努めます。また、研究交流企画等を通じて、新たな会員の獲得に努めます。

### (5) 財務

2024/2025年度よりグループ会費を0円としました。例年と同様に活発な研究交流企画実施のため、研究交流会費に多くの予算を充てています。過年度までの繰越金の有効活用を念頭に執行してまいります。

### (6) 広報とデザイン

企画実施に伴い、スムーズにビラの制作に取り組みます。

## 【第2号議案】

2023/2024 年度決算案 (2023.7～2024.6)

(単位：  
円)

総収入	総支出	差引残高
762,808	128,108	634,700

■収入			
項目	予算	決算	差引額
前年度繰越金	628,307	628,307	0
会費・地域グループ助成金	123,000	129,000	6,000
セミナー参加費	10,000	5,500	-4,500
大図研出版物支部卸頒布	5,000	0	-5,000
利子	1	1	0
合計	766,308	762,808	-3,500

■支出			
項目	予算	決算	差引額
会報	60,000	27,042	32,958
研究交流会費	250,000	92,762	157,328
事務費	10,000	3,960	6,040
特別事業費	20,000	4,434	15,566
予備費	426,308	0	426,308
合計	766,308	128,108	638,200

※会報の内訳は原稿料とNDLへの納本に係る印刷・発送経費です。

※特別事業費の内訳は、学生会員1名への図書カードの還元です。

※事務費の内訳は振替受払通知票等郵送通知料金と振込手数料、およびゆうちょダイレクトで送金するために必要なトークンの購入経費です。

## 2023/2024 年度大学図書館研究会京都地域グループ会計監査報告

帳簿および現金は適正に保管・記載されていた。

2024年7月19日

辰野 直子

(印)

## 2024/2025 年度予算案 (2024.7~2025.6)

(単位：円)

□収入	
項目	
前年度繰越金	634,700
地域グループ助成金	27,000
セミナー参加費	10,000
大図研出版物支部卸頒布	5,000
利子	1
合計	676,701

□支出	
項目	
会報	60,000
研究交流会費	250,000
事務費	10,000
特別事業費	20,000
予備費	336,701
合計	676,701

※2024/2025 年度より会費は 0 円となりました。

※会報は電子的な公開を継続し、印刷・発送を最小限度にするとともに次年度も編集作業に支出します。

※活発な研究交流会を行うため今年度どおり研究交流会費として計上します。

※ウィズコロナ(アフターコロナ)を考慮し、Web 会議方式での開催によるセミナー会場費等を見直します。

※来年度も会員増のため特別事業費を設定しています。

【第3号議案】

2024/2025 年度大学図書館研究会京都地域グループ運営委員

グループ委員(50 音順)

安東 正玄 (立命館大学法学部事務室)

内田 栞 (京都大学附属図書館)

坂本 拓 (国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室)

長坂 和茂 (京都大学法学部図書室)

野間口 真裕 (京都大学附属図書館)

原 健治 (同志社大学経済学部・経済学研究科事務室)

山上 朋宏 (奈良女子大学学術情報センター)

山下 ユミ (京都府立図書館)

若狭 あや (京都大学桂図書館)

監査委員

山岸 瑤果 (京都大学附属図書館)

全国委員

長坂 和茂 (京都大学法学部図書室)

特別グループ委員

赤澤 久弥 (京都大学附属図書館)

渡邊 伸彦 (京都大学医学図書館)

<大学図書館研究会第46回京都地域グループ総会 議事メモ・補足事項>

・第1号議案

大図研京都ワンディセミナー「京都大学 桂図書館見学！」の開催日は2024年5月18日ではないか

→訂正する。

グループ報のあり方について抜本的な見直しを検討とあるが、具体的な方針はあるか。

→休刊やPDFの形式がいいのかなど、2024/2025年度に一から検討しなおす。

・第2号議案

特別事業費で学生会員への還元を実施しているが、今年度からグループ会費が0になっている。今後も継続するのか。

→2024/2025年度は継続とし、正式開始に向けた議論を年度内に行う。

・第3号議案

山岸監査委員は大図研に入会したばかりだが、監査を行うにあたって問題はないか。

→監査は領収証を確認してもらうため、対面で行う方が効率がいい。そのため、京都大学附属図書館の職員である山岸さんは適任であると考えます。

全国委員は審議の結果、長坂委員とすることが決定した。

## グループ運営委員 挨拶

2024/2025 年度グループ委員を務めます 9 名よりご挨拶させていただきます。今年度もより一層京都地域グループ盛り上げ、会員の皆さまのお役に立つような情報提供を行っていきたいと思います。これからも大学図書館問題研究会京都地域グループをどうぞよろしくお願いいたします。

### ●グループ代表/Web サイト/組織・財務 (山上 朋宏)

今年度より地域グループ代表を務めさせていただくことになりました。

京都支部 (現京都地域グループ) には就職した 2012 年から加入し、翌年からは委員もさせていただくことになりましたが通常の業務だけでは知りえなかった様々なことを学ばせてもらえたことは私にとって大きな糧になりました。加入した当時からは大学図書館もそれを取り巻く社会も大きく変化しましたが会員相互の交流を深め、研修・経験交流の場を提供するという本グループの目的はさらに重要になってきていると思います。自分が京都地域グループから受けてきたことを少しでも返せるよう精一杯務めさせていただきますので、1 年間どうぞよろしくお願いいたします。

やまがみ ともひろ (奈良女子大学学術情報センター)

### ●副グループ代表/グループ報編集/全国委員 (長坂 和茂)

私事ですが、コロナ禍真っ最中の 2021 年に自宅をリフォームしました。その時に、ほぼすべての窓に二重ガラス+樹脂サッシの内窓を設置したところ、冬の夜に暖房をかけても窓がまったく結露しなくなり、これまでどれだけの熱が窓を通じて逃げていたのかと驚きました。

そんなこともあり、最近図書館見学に行くと、窓がどうなっているかとても気になります。図書館という施設は、その特性上、空調を多用する傾向にありますので、電気代も高騰する昨今、こういった要素も今後は「良い図書館」の評価軸に加わっていくのではないかな、と思っています。

ながさか かずしげ (京都大学法学部図書室)

### ●研究企画 (安東 正玄)

昨年度に引き続き研究企画を担当します。

大学図書館を離れて、学部事務室で 8 年が経過しました。そしてこの 11 月からはまた別の部署に異動(出向)することになりました。幸いなことに、私が図書館界で培った人脈はいまだに続いてうれしく思います。これほど他大学・他の業界(それも海外含む)とつながる分野は図書館しか知りません。私にとって、図書館は私のライフワークと言えるものになっているようです。とは言え、定年まで 2 年となり企画担当を私が独占してはいけないと思っています(企画担当楽しいですよ!)。また大図研は会長も変わり世代交代が続いていますので、大図研にもよりフレッシュなメンバーで運営ができるように企画で人を呼び込みたいと思っています。

あんど う せいげん (立命館大学)



●組織財務 (内田 栞)

今年度も組織財務を担当します。改めて数えなおしてみると、見習い時代から含めてもう8年目になり、驚いています。遅くなりましたが、やっと組織財務を通して大図研京都のことが分かってきたように思います。今年度よりグループ会費が0円となりました。組織財務担当として、これまで以上に適切な執行となるよう、十分に留意をしながら、務めてまいります。

また今年度は育休が終了し、4月より1年半ぶりの職場復帰の予定です。今から不安ですが、少しずつ準備を進めていこうと思います。引き続きどうぞよろしく願いいたします。

うちだ しおり (京都大学附属図書館)

●グループ報編集 (坂本 拓)

2006年からこの委員をさせていただき、もう19年目になりました。思えばこの19年間、職場での業務が楽しくてたまらない時と、あまりそうでない時(笑)がありました。楽しくてたまらない時は、職場で得た知識や経験を大図研で実践していろいろな企画をすることができましたし、そうでない時も、大図研では、モチベーションの高い仲間たちとフラットにいろいろな意見交換・業務提案ができて、かなり救われていたように思います。私もTheおっさんになってしまいましたが、また新しいフレッシュなメンバーが大図研京都地域グループでいろんな経験を積まれたら嬉しいな、と思います。

さかもと たく (国立情報学研究所学術基盤推進部図書館連携・協力室)

●グループ報編集/Webサイト/メールマガジン (野間口 真裕)

昨年度は副グループ代表、組織・財務を一年務めさせていただき、グループ会費について財務の引継ぎを含め何とか形にすることができました。

今年度はグループ報の編集について、他のグループ委員にご助力いただきながら、適切な記録・周知・広報が行えるよう、頑張りたいと思います。

よろしく願いいたします。

のまぐち まさひろ (京都大学附属図書館)

●SNS/ (原 健治)

先日日本シリーズ第1戦の観戦に横浜スタジアムに行ってきました。その道中、みなとみらい地区を歩いていると、図書館勤務時代には毎年通っていた図書館総合展のことを思い出しました。

図書館を離れて8年経過し、図書館界隈のトレンドからは疎くなってきましたが、電子ジャーナルやデータベースの契約に携わると、大図研でのリハビリが大いに役に立っています。

残り少ない大学職員人生ですが、業務に役立つ様々なヒントを掴んでいきたいと思っています。

はら けんじ (同志社大学文学部・文学研究科事務室)

●メールマガジン (山下 ユミ)

公共図書館に異動して7年目になりますが、大学図書館や学術情報への関心を持ちながら勤務しています。

異動した当初は、電子の世界から紙の世界へ逆戻りしたようで戸惑いでしたが、コロナ禍を経て、公共図書館でも電子リソースが求められる時代になり、大学図書館での経験が活かされていると感じています。

今年度もメルマガ担当として、主にイベント情報などをお届けします。どうぞよろしくお願いします。

やました ゆみ (京都府立図書館)

● 研究企画 (若狭 あや)

研究企画を担当させていただきます。この4月に異動しまして、電子媒体とばかり関わる日々から、利用者や紙媒体とも関わる日々となりました。利用者の方の様子を前よりしっかりと感じられたり、電子でしか認識していなかった紙雑誌に圧倒されたりする刺激的な毎日の中、利用者の方と様々な媒体の資料をどうつなぐことができるかについて、考えることが多くなりました。

今年度も引き続きどうぞよろしく願いいたします。

わかさ あや (京都大学桂図書館)

◇ 会費ご納入のお願い ◇

会員のみなさまにおかれましてはご健勝のことと存じます。

2016/2017年度(2016年7月～2017年6月)より、大学図書館研究会会費は、すべての会員の皆さまに、直接大学図書館研究会事務局へご納入いただいております。また、2023/2024年度臨時地域グループ総会にて2024/2025年度より京都地域グループ費が0円になることとなりました。

**2024/2025年度より会費は、**

**¥5,000(大図研会費：¥5,000+京都地域グループ費：¥0)/年度です。**

**※2023/2024年度までの会費は¥7,000(大図研会費：¥5,000+京都地域グループ費：¥2,000)/となります。未納の場合につきましては速やかに納入いただきますよう何卒よろしくお願いいたします。**

**【振込先】**

郵便局 00190-2-79769 大学図書館研究会

■銀行名 ゆうちょ銀行 ■金融機関コード 9900 ■店番 019

■預金種目 当座 ■店名 〇一九(ゼロイチキュウ店) ■口座番号 0079769

ご不明な点は大学図書館研究会事務局(会費担当)(kaihi@daitoken.com)までご連絡ください。

※ 学生会員制度(試行)として、学生の方には特典をお渡ししております。

詳細は京都地域グループ Web サイトの「学生会員制度の試行について」をご覧ください。